

区の教育に係る現状分析および課題の抽出について

1 概要

「(仮称)教育推進プラン・江東(第3期)(以下、「プラン」)」の策定方針に基づき、「教育に関する意識調査」の結果から現状分析と課題抽出および区民ニーズの把握を行い、社会情勢の変化をプランに反映する。

また、特別区他区の動向を調査し、近年の動向や視点の分析を行い、プラン策定の参考とする。

2 分析資料

(1) 教育に関する意識調査

資料1のとおり「教育に関する意識調査」を実施し、調査結果に基づく現状と課題についてとりまとめを行った。

※詳細は別紙1「(仮称)教育推進プラン・江東(第3期) 計画策定に係る意識調査報告書(案)」及び別紙2「教育に関する意識調査 調査結果および現状と課題 比較表」参照

(2) 他区教育振興基本計画等

周辺区(特別区第五ブロック(墨田区、足立区、葛飾区、江戸川区)及び台東区)の教育振興基本計画等を分析した。

※詳細は別紙3「周辺区教育振興基本計画等比較表」参照

3 今後の進め方

プランの検討を進めるにあたり、計画の枠組みとなる骨子のたたき台として、「(仮称)教育推進プラン・江東(第3期)骨子案(以下、「骨子案」)」を策定する。

骨子案では、プラン策定方針に基づき、教育理念の「5つの力」と「3つの指針」、理念を実現するための「4つのテーマ」と「10の施策」は第2期プランから継承するが、各施策を実行するための「22の取組指針」と「4つのテーマを進めるICT化」について、見直しを進めていく。

「22の取組指針」の見直しにあたっては、上記2の分析結果から抽出した現状と課題を踏まえ、枠組みの変更や現状にあわせた文言への修正、取組指針の加除を行う。

また、「4つのテーマを進めるICT化」については、4つのテーマにまたがる共通の視点として、新たな項目の検討を進める。